

衛生だより



CSF群馬県発生事例(59例目)に対する CSF疫学調査チーム検討会の結果について

令和2年9月26日に群馬県で発生した、豚熱(CSF)の疫学調査概要が公表され、以下の飼養衛生管理基準の項目が不遵守だった点が指摘されました。

- 衛生管理区域内出入りのたびに消毒や衣服・靴の交換ができない自宅が含まれていた
- 衛生管理区域に入る車両の消毒が不十分
- 豚舎ごとの長靴や作業着の交換が不十分
- 防護柵等は設置されていたが、防護柵周囲の除草が未実施
- ほとんどの豚舎や堆肥舎に防鳥ネットを設置していなかった
- 衛生管理区域内外に糞尿が堆積、衛生管理区域内の消毒・除草が不十分
- 家畜保健衛生所への早期通報がなされなかった

! 以上の結果を踏まえ、以下の対策を確実に行いましょう!

★毎日の健康観察と異常豚発見時の早期通報・相談

- ・下痢や死亡頭数の増加等のCSFを疑う症状(特定症状)が確認された場合は、遅滞なく家保に通報する。
- ・豚の健康状態が普段と異なるなどの理由でワクチン接種を延期する場合には、当該豚の感染防止対策を徹底する。

★適正な飼養衛生管理の徹底

CSFワクチンは接種しても100%免疫が付与される訳ではなく、ワクチン接種農場においても、免疫を獲得していない豚が存在することが報告されています。特に、母豚の移行抗体が低下する時期の離乳豚は、感染リスクが高くなる恐れがあるため、離乳豚飼育豚舎等では、

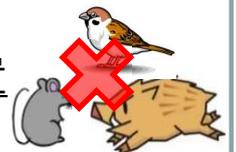


・柵の設置等による衛生管理区域への野生動物の侵入防止措置

・豚舎開口部への防鳥ネットの設置

・豚舎に出入りする際の、長靴や作業着の交換及び手指や一輪車の消毒

・健康観察と異常が認められた際の通報 等を徹底しましょう!



→ 疫学調査結果は、農林水産省のHPに掲載されていますので、御参照ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/domestic-128.pdf>

韓国の養豚場でアフリカ豚熱 (ASF) 発生！

令和2年10月9日、韓国北部の江原道華川郡の養豚場（940頭飼養）において、韓国で15例目となるASFが発生しました。韓国におけるASFの飼養豚での発生は昨年9月以来、1年ぶりです。

【概要】

- ・ 10月8日 江原道鉄原郡のと殺場において、江原道華川郡の養豚場から出荷された母豚が8頭中3頭死亡。
- ・ 10月9日 当該母豚について精密検査の結果、ASFと確定。
- ・ 当該発生農場から半径10km圏内の養豚農場（2戸、1525頭飼養）の飼養豚全頭の予防的殺処分を実施。うち1戸の農場はASF陽性が確認された（16例目）。

発生場所：農場周辺では野生いのししでの発生が確認されている



ASFウイルスの国内への侵入リスクが高まっています！

飼養衛生管理の再確認に加え、
下記事項に留意し、防疫対策の徹底を！

- 発生地域への渡航自粛
- 発生国等から肉製品等を持ち帰らない、発生国等から送られてきた肉製品等を受け取らない。
- 生肉を含み、又は含む可能性がある飼料を給与する場合は、加熱処理が適切に行われたものを用いる。

<発生数>

飼養豚：16件

野生いのしし：758件

(R2年10月15日現在)

豚の様子がおかしいな、と思ったらすぐにご連絡ください！！

北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されます。必ず5回以上コールしてください